

経営比較分析表（令和3年度決算）

愛知県 稲沢市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	84.23	99.96	2,530	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
135,271	79.35	1,704.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
134,692	79.30	1,698.51

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

●経営の健全性について
当市においては、毎年度経費削減に努めており、このことが、①経常収支比率、⑤料金回収率、⑥給水原価が類似団体平均及び令和3年度全国平均と比べ良好な水準として表れている。しかし、近年は給水量の減少による収益の減少や多額の投資による減価償却費の増加により、毎年指標が悪化している。また、令和2年度に新型コロナウイルス感染症による水道料金の準備料金の免除により給水収益が減少したため、各指標に影響を与えている。
また、④企業債残高対給水収益比率は、平成23年度、24年度に繰上償還を実施したこともあり、類似団体平均及び令和3年度全国平均と比べ低く、市民の将来負担を抑制している。しかし、今後は老朽施設等の更新に多額の投資が必要となり、その財源として企業債を活用するため、数値の悪化が見込まれる。

●効率性について
⑧有収率は過去5年間90%以上を保っており、類似団体平均及び令和3年度全国平均と比べて高い水準にある。平成30年度から連続して令和3年度も、平成25年度以前の水準を維持した。
一方で、⑦施設利用率は配水量の減少により悪化傾向にある。平成25年度に配水池の容量を縮小する等ダウンサイジングを進めているが、指標には反映されておらず、類似団体平均及び令和3年度全国平均と比べて低い水準にある。

2. 老朽化の状況について

当市において、①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均及び令和3年度全国平均と比べて低い水準にある。近年は減価償却費を上回る投資を続けており